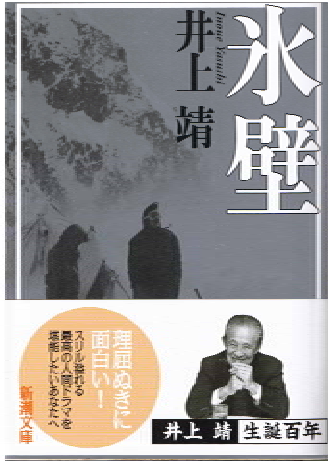


上高地旅行

平成19年7月17-19日
撮影編集 山本哲雄

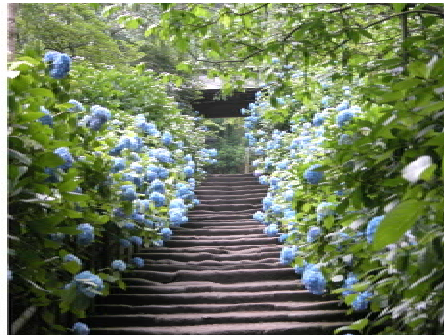
前準備

上高地旅行の企画が持ち上がったのが1月、旅行日は7月17-19日に決定、その後井上靖の「氷壁」の宿「徳澤園」に予約、さらに体力、装備の点検のための鎌倉ハイク、井上靖の生誕百年の記念展示を見る横浜サミットと準備を進めてきた。これらをHPを作成し案内しまとめてくれたのが晴れ男赤川さんであった。(感謝)



6月12日鎌倉ハイキング

明月院 から 天園へ



奥の庭へ(500円)のすばらしい花ショウブ



上高地の歴史をインターネット、解説本などで予め勉強し、当日までウォーミングアップを続けた。



昼食は齊藤さん紹介の雪ノ下のレストラン

上高地の歴史 (上高地公式HPより)

明治になって近代化を進めるために、明治政府は多くの外国人技師を雇いました。

その中で、英国冶金技師ウィリアム・ガウランドは明治10年7月に槍ヶ岳に登り、その記録を雑誌で紹介し、その中で「Japan alps」という表現を用いたのが、今日の「日本アルプス」の語源になりました。

その後英国人宣教師ウォルター・ウェストンも槍ヶ岳に登り、その著書『日本アルプスの登山と探検』で詳しく上高地周辺の山々を紹介しています。ウェストンは上高地から山に登る時は、地元安曇村生まれの猟師上條嘉門次を山案内人として一緒に同行させ、その本の中で「ミスター・カモンジ」と紹介したので、嘉門次は有名な山案内人として、今日まで語られています。

大正4年6月に焼岳が大爆発を起こし、流れ出た土石流が梓川をせき止め、そこにできた池は大正池と命名され上高地の風景のひとつになりました。

上高地旅行

平成19年7月17-19日

日程:7月17日(火) 藤沢→河童橋●>明神池●>徳澤園

17日は藤沢はあいにくの雨。上高地はどうだろうか。
雨具の用意はしたが晴れてほしい。(祈る)

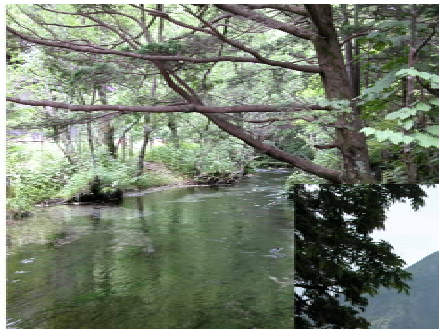


中央高速をおり、東窓から158号線沿いの稲核ダム湖。
だんだん上高地に近づいているぞ！と感じわくわく



着いた!!
河童橋が見えた!

雪渓も見える!!
そんなに高い?
何メートルあるのかな?



きれいな水 岩魚も見えた



明神岳?



全員集合と思ったが。(14時34分)



河童橋から明神池の途中で見た
線香花火のような「カラマツ草」

明神橋



(15時44分)



ニッコウキスゲ



明神橋

全員集合 (15時40分)



明神池

この池は穂高神社の神域となっているようで、周りにはうっそうと茂る森、枯れた木、岩とどこも無く神秘的な雰囲気。神域というだけの趣のある池だった 拝観料が300円であったこともうなづける



明神池横の嘉門次小屋 (山案内人の上條嘉門次はこの辺りに住んでいたのか)



まだ？後何分くらい？ 15分位！市川隊長の励ましの掛け声。それにしても重くなってきた (16時32分)



キバナノヤマオダマキ



(17時11分)



やっと着いた！隊長から 室長へのお知らせ (17時11分)



「あと100mくらい」と言われ元気が出た。
右手のカラマツソウの見事な群生に目を奪われ
足も止まる(線香花火のようで、美しい)



風呂上りで夕食前のラウンジでのひと時



カラマツソウ



参加の目的、期待、感想などの語らい



期待以上のすごい料理
「おいしかった!!!」

伊藤(晨)さんのカードマジック
この車がどうして、特定のカードの
ところで止まるの??不思議!
すごい!マジックでした



おやすみなさい